

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン ●第2560地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策 ●副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝 ●副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一 ●副SAA——松谷昊吉 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数	会員 74名中 51名
先々週出席率	84.29% (前年同期 91.55%)
今日のお花	白フリージャー、赤フリージャー
ヴィジター	三条南より 西巻克郎さん 三条北より 内藤 修さん、外山晴一さん
ゲスト	モニカ・リンデマンさん
先週のメイクアップ	
2/4 燕へ	加藤紋次郎さん
2/5 新潟東へ	渡辺喜彦さん
2/8 三条南へ	阿部武美さん、荻野保和さん、鈴木宗資さん、五十嵐晋三さん、 五十嵐昭一さん、菊池 渉さん
2/9 三条北へ	藤田紘一さん、吉井俊介さん、丸山行彦さん、内山辰策さん、 近藤雄介さん

会長挨拶 内山(辰)会長

今日は、卓話にモニカ・リンデマンさんをお迎えしております。

去る3日、節分の日ですが本成寺で豆まきが盛大に行われまして善男、善女が多数お参り頂きました。本成寺にゆかりのある方にボランティア招集がかかりまして例会を欠席させて頂き大変失礼を致しました。

過日、「長久の家」通勤寮の20周年記念式典がありまして参加してまいりました。生徒さん・ご父兄・受け入れ企業の皆様方の合同の記念式典でありました。育成会の会長さんだと思いますが、ご挨拶の中で『今日、来ている生徒さんは知恵遅れであって決して馬鹿ではありません!』とおっしゃいました。馬鹿というのは、知恵のある人が案外馬鹿なのだとか聞かされて成る程と考えさせられました。知恵遅れの方と交わっていると心が和みます、下手に利口振らないでむしろ真面目な知恵遅れ程度の方が世の中うまく行くのかな〜としみじみ感じてきました。

幹事報告 榎本幹事

◎例会変更のお知らせ!

燕RC——2月25日(木)友人招待会PM6:30~ 於 明治屋新館

ニコニコBOX ￥6,000 2月10日分

- 内山(辰)さん 去る三日本成寺の節分のため欠席させて頂きました。本日はモニカ・リンデマンさんの卓話を期待致しています。
- 榎本さん 本日都合により早退させていただきます。
- 山本(福)さん 地区大会の記録にデカデカと顔写真がのりました。実物はもうすこし品がいいと思います。
- 細井さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。かぜの具合もようやく良くなりました。
- 古澤さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。
- 川口さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。

ご案内 小林敬典会員

明日の2月11日は建国記念の日であります。私共、だいたい前より建国記念の日を祝う会を行っておりますが今回が14回目です、実質的には15回の子供でしたが昭和天皇のご崩御の年に休ませて頂きました。今回は、9:30からの開会で「皇室と日本人」と言う題名で約1時間位の映画を上映させて頂きます、どうかご都合の付く方々には是非に参加して頂きたいと思っております。

ゲストスピーカーの紹介 近藤雄介プログラム委員長

本日の講師の方をご紹介します。お名前は、モニカ・リンデマンさんであります。オーストラリア人でキャンベラの出身だそうです、大変お若いのですが実はご結婚をしております4才のお嬢さんがいらっしゃいます。ご趣味はジョギングと読書、それに日本語と日本人の現代の生活様式に興味があるということです。現在は、一中・二中・四中・大崎中の英語教師をなされており三条市の教育委員会に所属をしております。

卓話 モニカ・リンデマンさん(オーストラリア出身)

ご紹介、ありがとうございます。私は、モニカ・リンデマンです今日は、こちらに招待して下さい大変ありがとうございます。

私は去年の7月にオーストラリアから日本に来ました、今は三条市教育委員会に勤めています。私は日本に来る前に3年間キャンベラ大学で日本語の勉強をしていました、去年の4月に卒業しました私はジェットプログラム(JET PROGRAM)という事で日本にやってきました。JET PROGRAMは日本語で「語学指導等を行なう外国青年招致事業」というものです。ジェットプログラムは日本の自治体国際協会が組織しているものです、日本の外国語の教育と国際交流の為に毎年いろいろの国から青年の人達がジェットプログラムのお蔭で日本へやって来ます、今私は英語指導助手として三条市の中学校で働いています。2年間三条市にいます、主人と4才の娘と一緒に三条の興野に住んでいます。主人は英会話の学校に勤めています、娘は家の近くの保育所へ行っています、娘が若いうちに外国の文化を体験する事はとてもいい事だと思っています。彼女は速く日本の生活になれているし日本語も早く覚えています、彼女が行っている保育所の子供達の為にも娘と一緒に遊ぶのはよい機会だと思っています。三条市の子供達には外国人と交流する機会が無いのでいい機会だと思っております。



今日はオーストラリアと私の住み慣れた都市のキャンベラについて話します。さて、オーストラリアを紹介しますオーストラリアは大きな国で面積は768万平方キロです、そしてオーストラリアの広さは日本の20倍です。オーストラリアの自然と暮しの様子は所によって違います、例えばオーストラリアの中に砂漠と熱帯的な地域も有りますオーストラリアの大陸は世界で一番乾いた大陸で国土の約70%が乾燥した土地です、オーストラリアの大都市は気候の温暖な南東部に多いです。私が住んでいた都市のキャンベラもオーストラリアの南東部に在ります、またオーストラリア大陸は海拔600Mを越えるところが全体の5%しかありません、世界でオーストラリアが一番平な大陸です。オーストラリアは「時間の止まった大陸」と呼ばれています、遙か昔から他の大陸からオーストラリアは遠く離れていて猛獣もいなかったのが古くて珍しい動物が沢山生き延びてきました、特に有名な動物はコアラとカンガルーです。この動物は子供を運ぶ袋がある有袋類という種類です、オーストラリアに住んでいる哺乳類の中の半分位が有袋類です、けれどもオーストラリアは大きな動物園だけじゃなくて大切な地下資源が随分沢山採れるし、世界中でオーストラリアは羊毛生産国で一番です。実は、オーストラリアの羊の数は人口の10倍です、オーストラリアではメリノという羊の種類は特に毛が高い値段で売られています、オーストラリアは日本・ソ連・中国・ヨーロッパなどに羊毛を輸出しています。オーストラリアの地下資源の大部分は他に使いみちの無いような荒地で見つけられました、さらに鉄鉱石や石炭は地面の奥深く探しながら掘り進まなくても表面の土を取り除いてゆく露天掘りという方法で手に入る鉱山も有ります。日本は輸入する資源のうちボーキサイト（アルミニウムの原料）の60%と石炭の50%と鉄鉱石の45%をオーストラリアに頼っています。1989年からはLNG（液化天然ガス）の輸入も始まりました、他にオーストラリアが生産している産物は食肉や砂糖や穀物や魚です。オーストラリアはダイヤモンドの産出も世界一です、またオーストラリアを訪問する観光客の数は毎年増加していますので観光業は大きな産業になりました、1991年度には50万人近い日本人の観光客がオーストラリアを訪問していました。更に、オーストラリアは世界の中でも、数少ない日本への輸出が多い国の一つです、つまり日本はオーストラリアへ輸出する量よりもオーストラリアから輸入の量が多いという事です。

オーストラリアの人口は1700万人位です、日本と比べると少ないですオーストラリア人の大部分は都市に住んでいて15%が田舎に住んでいます。オーストラリアはアジアの地域にある国ですが文化的には西洋的な国です、生活様式は西方のヨーロッパと北米の生活様式に似ていて生活水準は高いです、1年間の平均給料は280万円位で、夫婦の大部分は家を賃借しないで自分の家を所有しています、私と主人はオーストラリアの家を所有しています。一週間の労働時間は38時間です、イイデスネ～ 学校と会社は毎週の土曜と日曜日は休みでこれもイイカナァ～と思います。オーストラリアはいろいろな文化の長所を取入

れた多分化社会の国です、今5人に1人は外国で生れた人です更に5人に1人は両親のどちらかが外国で生れた人です、私も父はドイツ人ですしそんな事はオーストラリアでは珍しくはありません、日本での登録外国人の数は日本人115人に対して1人の割合だそうです。オーストラリア人の生活様式と習慣は家族によって違います、一方日本はオーストラリアと比べると随分と同種の国と思っています。オーストラリアの歴史はイギリスから囚人がシドニーに連れて来られました、彼等はオーストラリアの最初の白人でした。シドニーはオーストラリアで一番大きな都市です、イギリス人が来る前はアボリジニーと言う先住民の人達が4万年位前から住んでいました、現在も昔の様な暮らし方をするアボリジニーがいますが最近普通の社会と一緒に住んでいるアボリジニーの数が多いです、オーストラリアの学校で歴史の学科の一部はアボリジニーの文化の勉強をする事にしました。

スライドにてオーストラリアのある地域風景・建造物や文化などが紹介されました。

オーストラリアと日本の関係は太平洋戦争が終わってから随分変わりました、現在オーストラリアはヨーロッパよりも地理的に近いアジア、それも特に日本との関係に力を入れています、オーストラリアにとって日本は農産物や鉱物資源の大切な輸出先です。今までの20年間日本はもっとも大切な貿易の相手国になりました、最近日本人の観光客も増えているし、また日本の協力を得て新しい技術の開発も進めようとしています。皆さんもオーストラリアに関心を持たれましたか？日本とオーストラリアの違いは多いかと思いますがお互いに理解すれば日本人とオーストラリア人の関係がもっと強くなると思っています。

これで私の拙いお話を終わります。

大変立派な日本語で原稿（写真掲載）を用意し、しっかりとした日本語で一生懸命に卓話をして頂きモニカさん大変ご苦勞さまでした。

ご講演ありがとうございました。私はモリソンです。今日はここに招待してくれて、たいへんありがとうございます。

私は去年の七月にオーストラリアから日本に来ました。今は三條市教育委員会に働いています。私は日本に来る前に三年間キャンベラ大学で日本語の勉強をしました。去年の四月に卒業しました。私はJET PROGRAMという事で日本に代り来ました。JET PROGRAMは日本語で「ごかくしどうじょうをとおすカワシキセキカクシヨウ」という物です。JET PROGRAMは日本の「じちたつこくさつカクシヨウ」が主としてこの物です。日本の外国語の教育と国際交流のために毎年いろいろな国から毎年何人かがJET PROGRAMのおかげで日本へ来ています。今は私は英語というしごとで三條市の中と小学校で働いています。二年間三條市に滞在予定です。主人と4才の娘と一緒に三條の興隆寺に住んでいます。主人は英会話の学校に働いています。娘は家の近所保育所へ行っています。娘が若いうちに外国の文化を体験するのはとてもいいことだと思います。彼女は速く日本の生活に慣れてほしいし日本語も

この期に人々の心を捉えて大いに感動を呼ぶべき人々を、その国の命脈が危ぶまれている時に、大いに力を注ぎたい。その人々の心を捉えて大いに感動を呼ぶべき人々を、その国の命脈が危ぶまれている時に、大いに力を注ぎたい。

2月17日例会	卓話	小林九満太会員
2月24日例会	卓話	中小企業大学校 校長 金子伸郎殿
3月3日例会		